

平成29年度 技術士第二次試験 口答試験体験記

日時：平成28年12月3日（土）16：40～17：00

部門：電気電子部門（電子応用）

試験官1：若いがしっかりした、真面目そうな方、技術士会の方？（40代？）

試験官2：白髪で優しそうな学者さんみたいな感じの方（60代？）

（***）は、僕の心の中のつぶやきです（^^）

僕：

（怖そうな人やなくてよかった）

失礼します m(_ _)m

試験官1：

受験番号とお名前をお願いします。

僕：

はい。

04030****の「だあー」です。

本日は、大阪から参りました。

よろしく願いいたします。

試験官1：

荷物をそちらにおいて、おかけ下さい。

僕：

ありがとうございます。

失礼します。

試験官1：

それでは始めさせて頂きます。

僕：

（緊張するなあ（^^；））

よろしく願いいたします。

試験官 2 :

経歴と業務の詳細を、10分くらいで説明して下さい。

僕

(えっ? 10分? 3分とか5分とか言われた時のために、削るところは考えていたけど、話を増やすことは考えていなかったなあ... まあ、時計も見やすいところにあることやし、時計と相談して、話しながら考えよう...)

はい。昭和**年、大学を卒業し...中略...

(そうや、僕が、どこで電気制御を身に付けたか、ここで話をしておこう!)

私は、もともと、機械工学科出身なのですが、前から電気のことやコンピュータのことに興味を持っていましたので、志願して、制御装置の開発にも携わらせてもらいました。

前職での7年半、電気制御の詳しい先輩のもとで、電気制御の基礎から応用まで習得しました。

(これで、機械科出身の僕が、電子応用で受験した説明ができた。時間もうまく稼げた)

平成**年、現在勤めている...中略...

この業務の中から1つご説明させていただきます。

...中略...

以上、非常に難しい課題に対して真剣に取り組み、成果が得られた事例の説明をさせていただきます。

(8分か、ちょっと短かったけどまあいいか)

試験官 2 :

よくわかりました。

僕 :

(第一関門クリアかな)

試験官 2 :

よいお仕事をされたようですね。失敗などされたことはないかもしれませんが、もしあればご紹介下さい。

僕 :

今まで失敗はいろいろしてきましたが、先ほどご説明させて頂いた制御装置開

発の業務でやってしまった失敗をご紹介させていただきます。

・・・中略・・・

この失敗を糧として、これ以降・・・中略・・・を意識して設計するようにしています。

試験官 2 :

経歴を見せて頂くと、マネージャとして業務を進められていたこともあるようですが、プロジェクトの人数は何人くらいですか？

僕 :

2～3人でできる小さなプロジェクトから、機構部を含む大きなプロジェクトまであります。大きなプロジェクトでは、10人くらいの時もあります。

試験官 2 :

プロジェクトを取りまとめるにあたって、コミュニケーションが重要になると思いますが、どのようなことをされましたか？

僕 :

はい。コミュニケーションに関しては、・・・中略・・・のように取り組みました。

(そうや、ついでに、後輩への指導についてもここでしゃべっとう)

また、若手エンジニアへの指導を通してのコミュニケーションということもあります。最初にお話しさせて頂いたように、私は機械工学科出身なので、電気制御だけではなく、メカに関しても、よく相談を受けたり質問を受けたりしています。

その時に、単に答えを教えるのではなく、考え方を教えて、自分で答えを出させるような指導をしています。

試験官 2 :

いいことですね。

僕 :

ありがとうございます m(_ _)m

試験官 2 :

学会発表や特許はありますか？

僕：

はい。

まず、学会発表ですが、**装置の付帯設備として開発した画像処理技術を用いた**装置という装置で****協会で発表したことがあります。

この装置は、他社との共同開発で、その会社の担当の方が、***学会で発表し、そのお手伝いをさせて頂きました。

次に、特許ですが、約50件出願しました。その全ての特許で筆頭発明者として明細書の執筆を行いました。

試験官 2：

それはすごいですね。

僕：

ありがとうございます m(_ _)m

試験官 1：

信用失墜行為について、どうお考えかお話し下さい。

僕：

最近では、自動車の燃費データ、横浜のマンションの杭打ち、免震ゴムなどいろいろありますが、私の業界での話をさせて頂きます。

・・・中略・・・

場合によっては、付近住民の方を危険にさらす可能性もあった事例であり、不正の中でも、もっともやってはならないことです。

この会社は、結局解散することになってしまいました。

不正の影響を大きさを考えて、このようなことは絶対してはならないことです。

試験官 1：

どのような倫理観で業務を行うべきだと思いますか。

僕：

国民目線で業務を行うということです。いつも、国民に対する説明責任があるということを心に置いておく必要があると思っています。

コンプライアンス、それは、法令遵守だけではなく、部署の内規に至るまで、すべてのルールを守り、ルールに基づき記録を残し、その記録をもって国民に

説明できるような業務をしなければならないということだと考えています。

(そうそう. . . それから. . .)

そして、私自身、そのように行動しています。

試験官 1 :

あなたご自身がそのように行動されているということで、立派なことだと思います。

僕 :

ありがとうございます。

試験官 1 :

技術士には継続研鑽の責務があります。

僕 :

(継続研鑽として何をしているか聞かれるのかな?)

試験官 1

これからも、継続研鑽して、よい技術者としてお仕事頑張ってください。
以上で終わります。

僕 :

(激励でしたか. . .)

本日はありがとうございました。

(19分かぁ. . . 楽しかったけど、疲れた (^_^;)

失礼します。

この体験記に関するお問い合わせ、感想などは、以下の Web サイト、ブログのメッセージ欄から、もしくは、e-mail をお願いいたします。

Web サイト : 技術士だぁーちゃんの我楽多箱

<http://www.eonet.ne.jp/~northriver/gijutsushi/>

ブログ : 技術士だぁーちゃんの思いつくまま . . .

<http://dah.hyakunin-issu.net/>

e-mail : dah-p.e.jp@maia.eonet.ne.jp